

2013/01/20

中国政府高官の役人天国終了か？

習近平総書記は 2012 年 11 月の第十八次全国代表大会が開催された以降中央政治局の学習会を開催して「物が腐れば虫がわく」と指摘して「腐敗問題が深刻になれば最終的には共産党や国が滅ぶ」と述べ腐敗問題の解決に全力を挙げる考えを強調しました。

報告によると 2007 年 11 月から昨年約 5 年間で汚職や職権乱用などの腐敗問題で 66 万人を超える党員が処分されました。

この 5 年間で立件された贈収賄事件は 8 万件を超え賄賂総額は 2900 億円に及んだとの発表がありました。

又、2012 年だけに限ると十六万人が処分され取り調べを受けた汚職官僚のうち実に 95%に愛人がいたとの事でまさに役人天国であったと言えます。

習近平氏が総書記に就任してからこの様に腐敗撲滅の方針が明確に始まったことで大量の不動産の投げ売りが始まっています。

2012 年 12 月には政府高官によるとみられる大量の高級住宅とか高級別荘が売りに出され 12 月だけでは過去の 100 倍の不動産の投げ売りや海外への資産持ち出しが急増しています。

更に、中には中国に残り刑罰が確定すればブタ箱は当然で死刑宣告もあり得るので政府高官の職をなげうって海外逃亡者も急増しています。

因みに、海外逃亡した政府高官は 350 人を超え、その時に海外に持ち出された金額は 4 兆円を超えると発表されています。

このような背景には、ここ十年来の中国は各省がこぞって猛烈な地域開発を推し進めて来た事も大きな要因と思います。

中国の高度経済成長に伴い地方政府は元々ただ同然の国有地を売却して住宅開発とか新たな街作りそして金融センター開発とかを進めて来ました。

その成果として地方政府には売却した土地の利益により地方政府の財政が潤うと共に地方の活性化を促進したとして北京の共産党本部から業績として評価されていました。

しかし、その裏では地方高級官僚は業者から賄賂として大金が入り二十数軒程のマンション購入している者とか、海外へ個人資産として何十億円もの大金を送金していた者も居ました。

更に、数年前より若い女性の提供であれば直接お金を受け取らないので賄賂に当たらないとの屁理屈をつけて賄賂の代わりに若い女性が大量に提供され二十人程度の愛人が居る豪傑高級官僚もいました。

この様に一石何鳥もの非常に美味しい夢のような状況が続いて来たのが今までの地方政府高級官僚の実情でした。

今まで市民はうすうす感づいていましたが、最近は特にツイッターとか映像情報により裸で女性と写っている映像が明るみに出る等の情報提供が相次ぎ天国から地獄に追い落とされる高級官僚が後を絶ちません。

その他に、米国ニューヨークタイムズより温家宝氏の親族が海外に 2160 億円の資産を持ち出しているとのリーク情報もあります。

このようなことの連続なので共産党体制維持のためには習近平総書記も中国国民の関心を尖閣諸島の領土問題へ向ける必要があります。

具体的には、中国の船や飛行機による領海侵犯を続け日中関係を悪化させ国民の視線を逸らす事が共産党体制維持には必要不可欠であると考えていると思います。

その騒動に踊らされわいわい騒ぐ何%かの中国国民と日本国民が重要であると考えているのが実情だと思います。

日本と日本人にとってはいい面の皮ですが、間違っても尖閣諸島問題では先に手を出すような馬鹿な行動をせずに自重する事が一番重要なことと思います。

中野実